

2009年10月31日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

第9回LD・ADHD学習会&子ども未来セミナーⅢ

少年犯罪、児童虐待、ひきこもりなど「子どもの生きにくさ」について考えるセミナーを開催

中部学院大学（学長 岡本 健）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）などでは、子どもにおける諸問題を考える「第9回LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥／多動性障害）学習会」および「子ども未来セミナーⅢ」を同時開催します。テーマは「子どもの生きにくさとその支援」。近年、児童虐待や不登校・ひきこもり、少年犯罪など、子どもの問題が深刻になっています。今回は2講座があり、「子どもの生きにくさと少年犯罪・児童虐待」「子どもの生きにくさとひきこもり」と題して、親子のあり方、望まれる家族関係などについて考えます。

記

- 日時 2009年11月15日（日）午前10時～午後3時40分
- 場所 中部学院大学 各務原キャンパス 大講義室
(各務原市那加甥田町30-1 TEL:058-375-3600)
- 日程 10:00 開会あいさつ
10:15 講座1「子どもの生きにくさと少年犯罪・児童虐待」
講師 山田 万里子（あおば法律事務所・弁護士）
座長 喜多 一憲（本学子ども学科教授・
全国児童養護問題研究会会長）
12:15 昼食
13:30 講座2「子どもの生きにくさとひきこもり」
講師 田中 千穂子（東京大学大学院教授・臨床心理士）
座長 別府 悦子（本学子ども学科教授・
人間福祉相談センター主任相談員）
15:30 閉会あいさつ
- 定員 200名（参加費500円）

- 主 催 中部学院大学 子ども学部子ども学科
中部学院大学短期大学部 幼児教育学科
中部学院大学 人間福祉相談センター
中部学院大学 子ども家庭支援センター

- 後 援 岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、各務原市教育委員会、
関市教育委員会、学校心理士会岐阜支部、全国障害者問題研究会岐阜支部、
全国児童養護問題研究会岐阜・愛知支部、東海中央病院発達障害研究会、
しみずクリニック

- 講師紹介 【山田万里子（やまだ・まりこ）】

京都大学法学部卒業後、弁護士登録。現在、弁護士法人あおば法律事務所に勤務。女性・母親の立場から、少年事件や児童虐待、真剣をめぐる事件にかかわることも多い。今回は、そういった子どもをめぐる事件に実際に関わってきた弁護士の目からみた「子どもの生きにくさ」と、その背景、対応について講演。

- 【田中千穂子（たなか・ちほこ）】

東京都立大学大学院卒業後、花クリニックに臨床心理士として勤める。東京大学へ着任後も長らく臨床心理士として、受験ストレスを抱えた青年、不登校・ひきこもりの子どもたち、発達障がいのある子どもたちと親の支援に関わり、相談活動に携わっている。文学博士。著書として「ひきこもりの家族関係」「発達障害と心理臨床」「発達障害の理解と対応」など多数。今回は長年の相談活動と経験を交え、さまざまな理由でひきこもっている人、発達にかたよりなどがある人の生きにくさとその対応について講演。

- セミナー概要 【LD・ADHD 学習会とは】

保育・教育現場などで「授業に集中できない」「集団になじめない」「席から離れて、歩く」…といった行動を示す子どもたちの存在が問題になっています。これは一過性の場合もありますが、中には、学習障害（LD）や注意欠陥／多動性障害（ADHD）などの発達障害が背景にあることも指摘されています。こうした背景が十分理解されていないこと、教師や保護者が悩みを抱えていることも少なくなく、本学の発達療育相談室に多くの方が相談に来られています。そこで、専門家の講師を招いた LD・ADHD 学習会を開き、問題解決を探っています。

- 【子ども未来セミナーとは】

子どもや保育・教育に関わるタイムリーなテーマで、継続的に開催している研修会。2008 年度に第 1 回を開催しました。これまでの過去 2 回のセミナーでは、それぞれに専門の先生方をお招きし、講演会、シンポジウム、ワークショップなどのスタイルで、参加者とともにテーマを深めて成果を共有してきました。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 総合研究センター（担当：草薙）TEL:0575-24-2238（関キャンパス内）